

a ミッション	【校訓】「こころひろく ゆめおおきく」 ふるさとに誇りをもち、自分を愛し、夢を語る児童の育成	ビジョン【学校教育目標】自ら学び たくましく生きる【学校経営目標】 関わり合い つながりあう せらに小学校 【めざす学校像】〇一人一人を大切に学校〇授業を大切に学校〇地域や家庭を大切に学校 【めざす児童像】〇自ら考え、自ら学ぶ児童〇人として思いやりをもった児童〇自らを鍛え、自らを管理する児童 【めざす教職員像】〇学校教育目標に向けて協働する教職員〇教育のプロとしての自覚と誇りをもつ教師の資質・能力の向上に努める教職員〇法を遵守し、公教育の責任を果たす教職員	【育成を目指す資質・能力】 【知識及び技能】知識・技能 【思考力・判断力・表現力等】思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力・人間性】主体性・自らへの自信
---------	---	---	--

評価計画					自己評価				学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策 (取組指標を含む)	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成率	g 達成率	達成度	評価		イ	ロ	ハ		
学力の向上	<p>【関わり合う授業づくりプロジェクト】 〇日々の授業改善を図る。</p> <p>〇校内研修の改善</p> <p>「学力フォローアップ校指定事業」の推進を行い、「授業づくり」「学びの習慣づくり」により思考力・判断力・表現力・主体性を育む。</p>	<p>〇せらに授業スタイルの授業の改善と充実 ・授業において「かかわり合い・つながり合い」のある対話場面を1時間に1回以上設定する。</p> <p>〇本時のゴール(児童のこぼれ)をもとにかかわり合わせるポイントを明確にしたシミュレーションを行い授業改善を図る。</p>	<p>〇「標準学力テスト」「全国学力・学習状況調査」の学年平均が全国平均+2ポイント以上(国語・算数・理科)</p> <p>〇「標準学力テスト」で40%以下の児童の割合(国語・算数・理科)</p> <p>〇毎月の単元テストで、1～3学年80点以上、4～6学年75点以上の児童の割合(算数)</p> <p>〇児童アンケートで肯定的評価の割合</p> <p>「授業では、これまでに学習した内容が使えないか考えている。」 「授業では、自分の考えをもって図・式・言葉で表現している」 「授業では、友達の話の内容を考えたり、自分の考えと比べながら聞いている。」 「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」</p> <p>〇「せらに授業スタイル」をもとにかかわり合いのある場面を設定した(授業者アンケート)</p> <p>〇進んで自主学習することができた児童の割合(アンケート)</p> <p>〇自主学習で、予習に取組むことができた児童の割合(アンケート)</p> <p>〇書く内容が向上した児童の割合(単元末の言語テスト 全国平均以上)</p> <p>〇親子読書に取り組んだ児童の割合(アンケート)</p>	80%										
				<p>【関わり合う学びの習慣づくりプロジェクト】 語彙力の向上を目指す。 〇課題克服のための学力向上策を行う。</p> <p>〇「よみかき新聞」(新聞の活用)・「美写プリント」(複写)・「おしえてプリント」(言葉)を活用し、語彙を増やす。</p> <p>〇帯タイムの取組の工夫 ・読解力・思考力や表現力を育成する課題をやり切る。 ・国語辞典の活用(第1学年は2学期から)、詩や古典の朗読を推進する。 ・読み聞かせ朝会(1・2月)や親子読書(親による読み聞かせ)など、読書を通して読解力を伸ばす。 〇放課後補充学習(火・木)への取組。</p>	10%	1～3年80%	4～6年75%	80%	80%	80%	80%			
特色ある学校づくり	<p>人として思いやりをもった児童の育成を行う。 自信・主体性を培う。</p> <p>〇ふるさと学習の推進を行い、人として思いやりをもった児童の育成を行う。</p>	<p>【関わり合う300人ふるさとプロジェクト】 〇「特別の教科道徳」の授業改善を行い、人として思いやりをもった児童の育成を行う。</p> <p>〇ふるさと学習の推進を行い、人として思いやりをもった児童の育成を行う。</p>	<p>〇「特別の教科道徳」の指導案や板書を基に研修を行い、授業改善を図る。</p> <p>〇カリキュラム・マネジメントを行った「ふるさと学習」を行い、300人と関わり合う。せらにのよさをたくさん発見し、せらにに誇りをもつ児童を育てる。(内容例「せらに小 太鼓」「産業」「環境」「福祉」など)</p> <p>〇レベル4以上の挨拶に「プラス1」し、心がほっこりする一言を付け加えた挨拶を交わす。</p>	100%										
				<p>【関わり合う体力づくりプロジェクト】 〇体力・運動能力テストの課題を基にした取組を行い、体力の向上を図る。</p>	75%									
子どもと向き合う時間の確保	<p>自らを鍛え、自らを管理する力を育て、主体性を培う。</p>	<p>〇走力と投力を高める。 ・中距離走の取組を体育委員中心で行わせる。 ・自己の目標タイムを設定させ、記録向上の意欲を持たせる。 ・ペア学年でシャトルを使って、投げる練習を行う。(火・木中心)</p> <p>〇放課後の駅伝練習に全員参加し、互いを応援しあう。</p>	<p>〇新体力テストにおける全国平均を超えた項目の割合(72/90項目)</p> <p>〇駅伝練習に参加し、友達を応援した児童の割合(アンケート)</p>	90%										
				<p>〇「学校における働き方改革」の推進を行う。</p> <p>〇業務改善を一人二つ以上行う。 〇業務改善の方法を交流する。</p>	90%									
		<p>〇「学校における働き方改革」の推進を行う。</p>	<p>〇勤務時間外の在校等時間の上限1年間360時間以下、1か月45時間以下</p>	90%										

【学校関係者評価】 イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。ハ:わからない。